

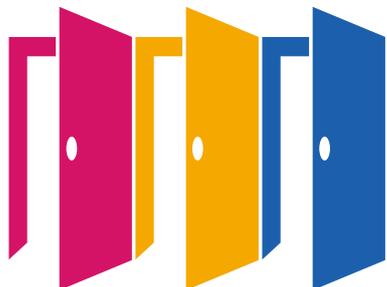
Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度国際ロータリーテーマ

2020～2021年度クラブ目標

『35年目の再構築 ロータリーの源流へ』

会長 吉野敬之
幹事 堀田一彦



第1638回例会

令和2年9月24日 (18:30～19:30)

○ソング

- 奉仕の理想

○スマイルBOX

- ガバナー補佐 遠藤武士様 (石黒ガバナー公式訪問の随行者として出席しております。協議会についての意見、参考になりました。引き続き御協力をお願いします。)
- 分区副幹事 矢内宏様 (有意義なクラブ協議会、例会、大変参考になりました。我クラブも少しでも貴クラブに近づけるよう精進いたします。)
- 吉野敬之会長 (石黒ガバナー、遠藤補佐、山口副幹事、矢内分区幹事、本日は大変有難うございました。沢山の気付きをいただきました。今後の会運営に活かしていきたいと思えます。ウナギはお口に合いましたでしょうか。)
- 堀田一彦幹事 (石黒ガバナー、遠藤ガバナー補佐、山口地区副幹事、矢内分区副幹事ようこそ！先週の米沢中央RCとのゴルフコンペで準優勝したのでスマイルします。)
- 居川孝男会員 (石黒ガバナー、遠藤ガバナー補佐、そして山口さん、矢内さん本日は御指導ありがとうございます。石黒ガバナー少しお痩せになりました。激務でしょうから、お体大切にしてください。)
- 成井正之会員 (石黒GB、遠藤GB補佐、山口様、矢内様、クラブ協議会のご指導誠にありがとうございます。楽しい雰囲気の中で講評をいただきましたこと大変勉強になりました。)
- 金田昇会員 (ガバナー公式訪問ありがとうございます。大変勉強になりました。)
- 富永章会員 (石黒ガバナー、遠藤ガバナー補佐、山口地区副幹事ようこそ、白河西ロータリークラブへ。)
- 佐藤清作会員 (ガバナーの公式訪問を歓迎いたします。)
- 関谷亮一会員 (石黒ガバナー、遠藤ガバナー補佐、山口地区副幹事、矢内県南分区副幹事、ようこそおいでいただきました。御指導ありがとうございます。)
- 仁平喜代治会員 (石黒ガバナー様、ご来訪ありがとうございます。)
- 運天直人会員 (石黒ガバナー、遠藤ガバナー補佐、山口地区副幹事、矢内県南分区副幹事、ようこそおいで下さいました。先月の米沢中央RCさんとのゴルフにてバーディーを3つも取りましたので、スマイル致します。)
- 須藤正樹会員 (とりあえず!!)
- 佐藤幸彦会員 (石黒ガバナー、遠藤ガバナー補佐、山口地区副幹事、お忙しいところご苦勞様でした。)
- 大住由香里会員 (石黒ガバナー、遠藤ガバナー補佐、山口副幹事様本日はありがとうございます。クラブ協議会でのお話そして卓話と本当に貴重な私の学びの時間でした。今後ともよろしく願い致します。)
- 永野文雄会員 (ガバナー公式訪問ありがとうございます。本年一年よろしく申し上げます。遠藤ガバナー補佐、山口地区幹事さん、矢内分区幹事さん、ありがとうございます。)

▶第1638回例会出席状況 (R2年9月24日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	45名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	59名
Ⓒ ①の出席者数	27名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	4名
Ⓕ ②の出席者数	12名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	39名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	68.4
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	75.4%

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

吉野敬之会長



皆様、こんばんは。本日も、多数のご出席をいただきありがとうございます。本日のプログラムは、ガバナー卓話ということでメンバーの皆様も非常に楽しみにされていることと思います。まず初めに本日のお客様をご紹介させていただきたいと思ひます。最初に、2530地区ガバナー、石黒秀司様でございます。石黒ガバナーには後程、卓話を頂戴したいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。続きまして地区ガバナー補佐、もうお馴染みでございます遠藤ガバナー補佐でございます。2530地区副幹事、山口松之進様。続きまして県南分区分事、矢内宏様。遠藤補佐にも後程、ご挨拶を賜りたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。山口さんと矢内さんは後程のご挨拶はないのでゆっくりお楽しみください。今日は米山奨学生、チョウ・ナンダさんがお見えになっております。先程来、会長の時間は大切だよと、どんな事を喋ってくれるんだろうと、非常にプレッシャーをかけられておまして、普通の3倍くらい緊張した中で話しておりますが、石黒ガバナーに後程、今年度運営にかける熱い思い、それとご指導のほうを卓話のほうで語っていただきたいと思ひます。今日は、3時半より会長幹事会、続いてクラブ協議会と長時間に渡り石黒ガバナーよりご指導をいただきました。委員長の皆様には、ご指導をいただいた内容を把握して今年度の活動目標が達成できるように頑張ってください、それをもろろん私を含めた全メンバーで力を合わせて支えて、今年度の運営が滞りなく素晴らしいものになるように頑張っていきたいと心を新たにされた次第でございます。それと先週の金曜日、米沢中央ロータリークラブさんとのゴルフ懇親会をさせていただきました。参加された14名の皆様、お忙しい中大変ありがとうございました。結果は、運天君のドライバーがついに地べたをスルスルするドライバーがついに宙を舞って80台を出したという素晴らしい成績のおかげもありまして、白河西が5連覇を達成するという結果となりました。永野さんにも素晴らしいショットを見せていただきました。ありがとうございます。結果は結果なんですが、それ以上にやはり今年は本当にコロナの中でなかなかお会いする機会がない米沢のメンバーの皆様と一日楽しい時間を過ごさせていただいたということが何よりも嬉しかったです。まだ、米沢のほうに訪問されたり、交流を深めてないメンバーの方もいらっしゃると思うんですけど、やはりシスターと呼ばれるクラブの皆様というのは非常に愛着がありまして、その方達と過ごす時間は年数が経てば経つほど非常に有意義なもの楽しいものになっていくと改めて実感いたしました。その一方、今回はゴルフ懇親という事だけで、夜の懇親会は中止というふうにさせていただきましたので、改めまして一日も早いコロナの終息を願うというふうな思いもございました。本日は、ガバナーのほうから確実に30分間の卓話の時間を取りなさいときつく厳命を下されておりますのでガバナーの卓話を楽しみに、本当はもっと素晴らしい話ができるところではございますが、会長の時間は来週に

持ち越してこの辺で終わらせていただきます。本日はよろしくお願ひいたします。

■幹事報告

堀田一彦幹事

- 福島県クリーンふくしま運動推進協議会県南地域協議会会長 山下勝弘：令和2年度福島県クリーンふくしま運動推進協議会県南地域協議会定期総会の開催結果について（通知）
- 社会福祉法人福島いのちの電話理事長 丹羽真一：福島いのちの電話をご支援いただいている皆様へ
- 国際ロータリー第2530地区月信委員会委員長 有賀隆宏：「ガバナー月信」掲載文章のお願い
- 国際ロータリー第2530地区ガバナー事務所：ロータリーリーダーシップ研究会（RLI）パートⅡ開催のご案内訂正
- 国際ロータリー第2530地区ガバナー事務所：合同セミナー出席カード
- ココ・ファーム・ワイナリー：ぶどう畑通信 2020年秋号
- 米沢中央ロータリークラブ：年度計画書／年次計画書 2020-2021
- 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会：10月米沢月間資料のご案内

■米山奨学金の授与

チョウ・ナンダ・トゥン様



■委員会報告

○35周年実行委員会

青木大会員



35周年実行委員会から、皆さん方へお願ひがございます。35周年実行委員会を、9月30日の6時半から白河市商工会議所で行いますので、対象になられた方はご参加のほうをよろしくお願ひいたします。

■本日のプログラム

ガバナー公式訪問

○2020-2021年度国際ロータリー第2530地区ガバナー

石黒秀司様



皆さん、こんばんは。郡山ロータリークラブ所属、石黒秀司と申します。今日は、3時半から会長幹事会ということで、そのあとクラブ協議会、そしてこの例会ということで、「ロータリーの友」では私の大好物はエビフライになっていたんですね。エビフライは30数クラブ目で初めて出ました。本当は鰻なんですよという話をしましたら、忖度していただきまして本当にありがとうございました。もう腹いっぱい横になったら眠っちゃうぞという

ようなそういう状況であります、時間の間パワーポイントで話を進めさせていただきたいと思っております。これがサンディエゴで、R I会長のホルガー・クナークさんがテーマ講演をされる、そういうシーンであります。私たちは10階の部屋に泊まっております、全世界から500人程のガバナーが来ます。パートナーも一緒に参加、そしてR I役員の方々、研修リーダーの方もパートナーと一緒においでいただきますので、1500人がいっぺんに動きます。私、行く前に先輩方から1時間前に動かないと部屋に入れねえぞと言われました。大変なんです、1500人。最初、10階から2階に来る下のボタン押すじゃないですか、エレベーター。もう乗れないんですね。ところが、人間学びます。とにかくエレベーター乗ることが先決だろうということで、今度上のボタン押すようになりましたね。ガラガラですよ。エレベーターに乗って一回30階に上って、そして2階に行きますと10分で行けるんです。そのような状況でありまして、来年の志賀エレクトにお伝えようと思ったら、今度会場が変わるということで残念ながら伝えられないというような状況であります。R I会長のホルガー・クナークさん、こんな問いかけから始まりました。有機的かつ持続可能な形でいかにロータリーを成長させることができるのか。いかに現会員を維持し、クラブにふさわしい新会員を募れるか。立ちはだかる課題に立ち向かうために、いかに組織を強くできるのかということなんですね。立ちはだかる課題っていったい何なのでしょう。会員の少ないところは増強かも知れない。先程、クラブ協議会の中でも、会長幹事会の中でお話いただきましたが、戦略計画の中で是非5年先のイメージを作ってくださいと。実際にどのように行動していくかということを考えてくださいというようなこととお話をしましたが、日本や欧米各国のロータリークラブは会員が減っております。ほとんどクラブ数は変わらないということは、小クラブ化してるということでした。阿久津バスターガバナーがよく仰るんです。阿久津先生がガバナーの時に20名以下のクラブは1クラブしかなかったらしいです、20年くらい前。ところが、今は一桁のところ沢山ありますから。そんなことで非常に小クラブ化が進み、そして年齢も上がり、組織の硬直化というのが進んでいるわけですね。太陽が出ているうちに屋根は修理しなければいけないという話をされました。もうとにかく、そういったサインが出た時はすぐにも対応策を練っていかうじゃないかということなんですね。また、ポリオ根絶の動きというのが最終盤にさしかかりまして、ポリオがあるのはパキスタン、アフガニスタンのみですね。ですので、ロータリークラブ全世界でポリオ根絶に向けての動きをやっている。ロータリーに対するブランディングが確立されようとしている今がいろいろな課題に対して立ち向かう最大のチャンスであろうということでありました。四つのテストは、私たちは正直か、そして自分のしていることは正しいのか。それを客観的に判断する非常にいい尺度であります。ただ、ホルガー・クナークさんは四つのテストだけでは駄目という話をされたんですね。もう一つ、大きく私達も変わらなければいけないところがあるのではないかとということでありました。ひょっとしたら、革命的に変わらなければいけないことも多いのであります。実は先程、冒頭で見ていただいた写真ですけども、あれは30分間くらいR Iテーマを

表すためのテーマ講演ということでお話をされたんですね。「ロータリーは機会の扉を開く」が今回のR Iテーマです。「Rotary opens opportunities」これに至るまで約30分間のお話をホルガー・クナークさんがお話されました。そのちょっと短めに表現します。ロータリアンがリーダーシップを評価する機会を作り、奉仕の理念を行動へと移し、支援を必要とする人々の生活を向上する活動を行うようロータリアンを喚起し、会員自身や受益者の人生をより豊かにする為の道を開く。これを単語に直していきます。ロータリアンの成長、奉仕の実践。ロータリアンの喚起、ロータリアンの人生を豊かに人々の人生を豊かに。さらに、聞いた言葉に代えていきますね。R Iテーマ、「ロータリーは機会の扉を開く」R I会長メッセージ、「Grow Rotarian」私たちは世界を変える行動人だ。私たちが行動することによって社会の発展がなされ、そして世界平和へと繋がっていく。「Grow Rotary」ロータリーをより成長させよう。すなわち、今年度は「ロータリーは機会の扉を開く」から「Grow Rotarian」私たちは世界を変える行動人であり、私たちが動くことによって社会の発展と世界の平和がもたらされロータリーを成長させようということなんですよ。 「Grow Rotary」いったいこれを皆さんはどこにお求めになりますかということなんですけど、先程のクラブ協議会でもご紹介いたしました、1916年にガイ・ガンディカーが「ロータリー通解」という文章の中で、会員一人一人の向上というのをロータリーの目的に挙げられております。1905年、ロータリークラブができた時は、規則的例会の出席の原則というのはあったようでありますし、また発想の交換機能というのがありました。それぞれ深堀をしながらまいります。規則的例会の出席の原則というのは、自己研鑽の自覚を持って例会はじめ、あらゆる会合に参加をしましょうということなんです。忙しければ忙しい人ほど例会に出ましょうということなんですね。小堀憲助さんが「心を求めて例会に至り、境地を得て例会を去る」と仰っております。白河西ロータリークラブさんに所属の皆様方は立派な方々であります。そして、この白河地区の財界の中心の方々でもございます。そういった方々と例会でいろいろな話をしながらお付き合いをする、いろいろな情報を交換することによって自分が育てられていくというような、規則的例会の出席の原則というのがあります。発想の交換機能もやはり同じような形でありまして、例会の重要性を認識しながら、自己研鑽、切磋琢磨による企業経営上のアイデアの交換、奉仕の発想の交換をしながら、常に倫理経営というものを提唱しながら共存共栄の道を模索していくということなんです、白河西ロータリークラブさんが



もっともっと入りたいロータリークラブになる。それが会員増強にも繋がっていくし、当然のことながらクラブの魅力を最大化していくということに繋がっていくはず。地区の目標の第一番目に、例会最重点主義ということを考えました。私達は内なる会員基盤、クラブ基盤の向上を一番にしたいと思っています。ですので、このクラブの例会に出席参加をすることによって、多くのあまたの優良なロータリアンの方々と接点を持つことにより自己研鑽に励んでいく。白河西ロータリークラブに所属すること自体が幸せ、そして満足感満載なんですね。ですので、このクラブの魅力を最大化していくことが先。そしてその後、最大化するための一つのファクターとして会員増強というのがあるのではないかと考えております。ロータリーは人材の宝庫だと思っています。実は、金田さん、質問です。東北で一番最初に出来たクラブはどこですか。考えてもわかんなんですから教えてください。仙台ですね。普通の人はそう答えるんですが、実は郡山です。いやいや、自慢めいた話になっちゃいますよね。実は当時、米山梅吉さんは人口10万人に1クラブというような考え方でおいでになった。10万人の町というのは、仙台と盛岡だけだったそうですね。初代会長、橋本萬右衛門さんという方なんですけど、東京にも拠点がありロータリークラブの存在自体ご存じになっていた。是非、郡山にもロータリークラブを作りたいということで、米山さん仙台からの帰りに東北本線で帰りますね。その時に、郡山に途中下車をしてもらったんですよ。そして、我が郡山にもロータリークラブをということで今から85年前にできたんです、郡山ロータリークラブが。ということで、スポンサーは東京ロータリークラブなんです、うちのクラブは。2年に1回くらいメーキャップするんです、帝国ホテルに。私、去年行った時に指定席でそこにお座りくださいと言われるんですね。右隣が「清水建設」の清水会長。左隣が、「東急百貨店」の根津名誉会長です。どちらの会社も上場会社で、そして元社長ですよ。財界の人間からすれば、上場会社の社長は雲上人なんですね。そういった方がロータリアンのバッチを付けているだけで、私に対してフレンドリーにお話しをかけてくれる、そんな状況ですね。あの松下幸之助さんもそうじゃないですか。そういう有名な方々もおいでになります。あんな方々と通常例会に出て、意見交換ができたならどんなにか楽しいだろうと私は思いますね。先程来申しあげておおり、こちらのクラブも財界の中心の方々がおいでになる。そして、例会の時にそういった方々と意見交換をすることがやはり最大の魅力になってくるのかなと思っていますね。そこで、あんな人もロータリアンだったというような、ここからサイズで



これはわかりにくいんでね。大リーグの選手なんです、野球選手。トリス・スपीカーという方でありまして、クリーブランドロータリークラブに所属しておりました。通算安打数が3514号だったかな。歴代5位です。日本の歴代5位、誰でしょうか。長嶋茂雄ですか、わかりませんが、それぐらいの選手がロータリークラブにいたってことですね。海外の事は駄目という方に対しては右の写真ですね、ボクシング選手。ベルトを肩にかけている人がロータリアンなんですよ。高山勝成選手と

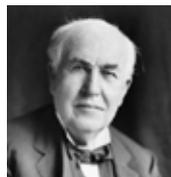
いう方なんです。この方は元世界王者なんです。世界王者で練習の拠点をフィリピンのセブに移した時に、衣食住、不衛生な環境下にあった。路上で生活してるようなそういった



親子もいたということで、自分のファイトマネーを使って是非そういった奉仕活動をしていきたいということで後援会会長に相談をしたというのです。そうしましたら、後援会の会長は堺フラワーロータリークラブの初代会長ということで、じゃ一緒にロータリークラブに入ってやるという話になって、2013年にロータリアンになった方なんです。日本にもこういう方おいでになりますね。じゃあ、次に行きますね。この方わかりますよね。そして、1905年にロータリークラブができ



ましたね。今、2020年。その間、アメリカの大統領って20人いるそうなんです。その20人の中でロータリアンだった人は、居川さん、何人いると思います。5人ね。中目さん、いかがです。20分の20、素晴らしいですね。話の流れからするとそんな感じになるんですが、20分の13なんですよ。多いと思いませんか。日本はどうなんでしょうね。多分少ないと思う、ほとんどいないんじゃないかな。J Cはいますよね、J C出身の首相が。じゃあ、この人いきますね。白黒のほう、いきましょ。小さい写真のほうですね、誰ですかね。トーマス・エジソン、そうなんです



よ。ロータリアンだったってわかった方、どの程度おいでになりますか。ああ、案外いないんですね。ウォルト・ディズニーもそうですね。じゃあ、右側の人いるじゃないですか、誰ですか。わかりますよね。白河はどこにあるんだっけかな。ケンタッキーフライドチキンはどこにあるんでしたっけ。イオンにあるんですね。そこに行くと、この人丁寧なロータリーバッチを付けて店番してますね。この人形見てください。ロータリーバッチ付けております。カーネル・サンダースの話は後程触れたいと思います。じゃあ、この人誰ですかね。あたりです、古閑裕而なんです。この方は皆さんと同じよう



にいかにもロータリアン風のネームプレート付けているじゃないですか。丸っこいやつ。そして、この人は東京世田谷ロータリークラブのバスター会長のひとかたでもあります。ここでちょっと戻ってカーネル・サンダースの話をちょっとしたいと思います。カーネル・サンダースはハーランド・サンダースというお名前だったそうですね。「ケンタッキー・カーネル」というのは商号でありまして、地域やケンタッキー州、国に対して顕著な貢献をした人に対して州知事が送ったのが「ケンタッキー・カーネル」で、ハーランド・サンダース、そして「ケンタッキー・カーネル」という商号なので、カーネル・サンダースというように呼ばれているそうです。5歳の時にお父さんが亡くなりました。お母さんと3人兄弟の長男という形ですね、一番上。10歳の時に家計を助けるために農場で住み込みで働くようになりました。月給が2

ドル。今の貨幣価値でいうと4,500円位だそうです。仕事内容は森の木を切って更地にする仕事だったそうですね。ところが、10歳の子供なのでリスが出てきたりとか小鳥がいたりすると、そっちに目が奪われて仕事が進まないということでクビになっちゃったそうなんです。で、家に帰りますね。このお母さんがまた厳しいんだ。石川の酒井会長に聞いたら、女性ですから。クビになった自分の子供に対してなんて声を掛けますかと聞いたら、まあカーネル・サンダースのお母さんのようには声を掛けられないと言っていました。彼は何でもこれから一家を支える長男が月2ドルの仕事でクビになると怒られたそうなんです。そこで、次の仕事からは一生懸命やろうと決意をし、できることはすべてやれ、できるなら最善を尽くせというような、二つのルールを自分に課していくんですね。そして、一生懸命仕事をし転々とするわけですけど職業は、26歳の時にプレデンシャル保険の営業マンになった。そこで彼は与えられたテリトリーがほとんど契約の取れないような地域だったらしいんですけど、できることはすべてやれ、やるなら最善を尽くせというような、10歳の時に自分に課した二つのルールを貫いて営業実績を上げていってロータリアンになるそうです。そこで彼は二つのモットーを足してもっともっと頑張るようになるそうです。皆さん、もうよくご存じです。最もよく奉仕する者、最も多く報いられる。超我の奉仕、聞いたことありますよね。この二つのモットーを10歳の時に自分にルールとして課した。できることはすべてやれ、やるなら最善を尽くせに加えてやるようになったんです。そのほかに、ロータリークラブで別の重要な考え方に出会ったんです。それは何かということなんです。是非、ポスターを持ってって事業所に貼ってください。四つのテストなんです。四つのテストをすべてのチェックリストがイエスならば、ビジネスとして実行する価値があると判断したそうでありまして、以後カーネルは新しいビジネスを始める際に四つのテストでその価値を検証するようにしたことなんです。私はこの話を送迎をしてくれた副幹事のある方から聞きまして、先程のプレデンシャル生命に勤めている、保険に勤めている人なんですけど、研修ビデオで見ましたよ石黒さんと言われたので本を読みました。そして、これ書いてありました。でも、アメリカの事だよってという話になるわけですよ。そこで、お盆休み中に見つけたんです、日本人の例を。「ハードオフコーポレーション」です。皆さんの中で「ハードオフコーポレーション」という社名、聞いた方どの程度おいでになりますか。おいでにならないですか。じゃあ、「ブックオフ」はどの程度おいでになりますか。おいでになりません、「ブックオフ」知ってますよね。「ブックオフ」と同じ店舗で展開をしている店もあるそうです。この方は、2000年にジャスダック上場、2005年東証一部上場ですね。1972年に24歳の時に、高級オーディオ専門店を開業された。ピーク時は8店舗の年商15億円。まああの会社ですよ。そんな状況だったんですが、バブルがはじけて小っちゃいオーディオ店からどんどん厳しくなっていった。売り上げ半減になったと、44歳ですね。20年後ですね。40歳の時に新発田ロータリークラブに入ったんです。そして、最も影響を受け感動し自問自答したのが四つのテストだそうです。本を読

んでいて次の文言が非常に私、胸に突き刺さったんです。単なるお題目、飾りとしての四つのテストや、世のため人のためでは何の意味もなさないと言っていましたね。さっきもクラブ協議会で申しあげましたが、こちらは歌でやっている。歌と同じ感じで出てきますね。真実かどうかですね。歌うと調子は出てくるけど、ぱっと言われたらなんか早回しできないね、あれね、なかなか。そういう感じもあるかと思えます。うちのクラブも月一やりますけれども、てんでんばらばらで出てきて1個出てこないなんていう方、結構多いのかもと思います。この方は本当に自分の会社が生きるか死ぬかの大変な時期に幹事を受けた。新発田ロータリークラブで書いてありましたね。副幹事をやっている時、また幹事をやっている時、役員理事会の時に金策の事で頭いっぱい、とにかく役員理事会の議題なんか頭に中に残ってないみたいな話し書いてありました。でも、副幹事、幹事がやれたから今の自分があると。あの危機を乗り越えることができたというふうに書いてありました。だから、今はロータリーを辞めなくて本当に良かったと言っているんです。そして、ロータリーから得るものが随分ありましたって言ってるんですね。本当に苦しい方はちょっとしたきっかけで気づきがあって、行動に移していくということがあるのかなと思いますね。そこで、この「ハードオフコーポレーション」の経営理念、こんな経営理念なんですよ。四つのテストですかね、経営理念が。社会の為になるか、お客様の為になるか、社員の為になるか、会社の為になるか、優先順位が1、2、3、4の順番で、4条件をすべて満たしているかというのが経営理念で、四つのテストというんです。「究極のローコスト経営」という本に出ておりました。そこで、四つのテストを考えた方、この方が自叙伝で何と言っているかです。四つのテストをどう使うかということが書いてありました。これ紹介したいと思うんです。まずは、暗記することから初めてください。そして、四つのテストで自分の考えとか言葉とか行いをすべて点検してくださいと書いてありました。四つのテストを用いる人は、すぐに使い方に慣れていつの間にか人々との交際がうまくいくようになると書いてある。そして、四つのテストを応用する人、かくして人生の正道を歩むことができ、他人との折り合いも良くなり、幸福な家庭を築くことができる。また、高い道徳的生き方を身に付けることができ、自分の選んだ職業専門分野で成功するであろうし、よりよい市民として青少年の良い見本となることができるであろう。四つのテストはあらゆる時代のあらゆる人々の為のものと書いてありました。先程申しあげているとおり、私たちは多くの素晴らしい方々の間に入ってこのクラブでクラブ活動しております。せっかく、週一時間をお作りになって皆さんがお集まりになるんですから、発想の交換機能でどんどんいろんな考え方の交換をしていただきたいと思っております。そして、心を開いて交流をいただきたいと思っております。「Participate and Enjoy ROTARY」という、そういう文言を私の方針の中に記載いたしました。「Participate」というのは、役目を考えながら参加しましょうというような意味であります。そして、「Enjoy ROTARY」それはまさにロータリーを楽しみましょうということなんですけど、Enjoyの中には好きになるという意味合いもあるようであり

まして、「Participate and Enjoy ROTARY」で、役目考えながらいろいろな事業に参加をいたしましょう。例会ほかIMも地区大会も、そしてロータリーをもっともっと楽しみましょうよ。そして、その上でもっともっと好きになりましょう。そして、このクラブがどんどん良くなって、魅力最大化して多くの方々に今度は自分の言葉でこの白河西ロータリークラブのことをPRしましょう、語り合えようというように形かなと思っております。しっかりと楽しんでまいりたいと思います。時間は私たちの為にスローダウンしてくれないということ、ホルガー・クナークさんも仰いました。先程のサインが出たら対応しましょうという部分にも繋がるとは思いますが、まさか今年の3月4月5月のように例会が中止になるなんて事は想定しましたですかね。私は考えられなかったですね。クラブ中止と同時にクラブの動きも中断しちゃいましたね。ですので、今年はいつどういう時にあんな形になるかもわかんないので、是非前倒しで行動してまいりたいなと思っておりますし、吉野会長も私もこんな時に、会長、ガバナーという特別な役職をいただいたのは、こういう状況を打開できるから神様が私を選んだんだくらいに思っているんですね。ですので、こんな時だからこそ、その後が続く言葉はやっぱり前向きな言葉を使っていきたいと思っています。こんな時だからこそ、会員の皆様方、心一つにしてクラブをもっともっと良くしていきましょうよ、地区をもっともっと良くしていきませんかということで、この一年間、吉野会長にお力添えいただきたいし、そしてまた地区のほうにもお力添えをいただきたいと思っています。先程、会長幹事会の中でこれほど電話するガバナーはいなかったというぐらい電話するから吉野さんって言いましたものね。何かあった時は電話くださいということで、しっかりと繋がったのでこの一年間、クラブのため地区のため共に頑張りたいと思っています。ご清聴どうもありがとうございました。よろしくどうぞお願いを申し上げます。

○2020-2021年度国際ロータリー第2530地区
 県南分区ガバナー補佐

遠藤武士様



改めて、おぼんでございます。随行者として今日お邪魔しましたけども、今皆さんの机の上に国道4号線の冊子があって、矢吹-白河というふうなことが出てましてちょっと私見たんですけども、これ皆さん

表面のことだけきつととらえたと思うんです。ということは、矢吹については4号線これ私、昭和33年に免許証取ったんですね。その2~3年前ちょっとですかね、今の矢吹の国道は決まったわけです。その時の国の施策としては、今の繁華街を通る4号国道にして計画路線があったんですね。それを地元の人が今の路線に変更したというふうなことで現在来ています。その結果、矢吹町の西手の商店街が廃れたと、50年過ぎまして。そういうふうな現況があります。やはり、そういうふうな一つの都市計画的なものを作る場合、やはりこちら今、石黒ガバナーが仰ったここに出席の方は町の指導者ですよ。そういうふうな観点から、やはり都市計画的な発想でもって道路をこしらえないとその町が廃れると、そういうふうな感じを持ちます。そういう点では、白河の場合は30何年前ですかね、四辻の所が今、294号線拡幅工事していますよね。あれなんか、35~36年前ですか計画して、それが今実行に移している。これから、白河区域は向こうのほう少し廃れたのが伸びてくるだろうと。そういうふうな感じをします。これはやはり、どこの町においてもそういうふうなものが発想して、それが40~50年過ぎて役に立つと、そういうふうなことになります。私、郡山の人間なものですから皆さん驚くかもしれないですけども、郡山では都市計画の発想が明治16年にできているんです。その結果、ものになったのが70~80年過ぎてからですね。そういうふうな現実があるんです。そういうふうなことで、石黒ガバナーの尻馬に乗ってあれですけども、町の指導者の皆さん方、そういうところを考慮した上にいろんな活動をお願いしたいなというふうな感じをしております。あともう一つ、先週の木曜日、皆さん方の代表者に来ていただきまして、石黒ガバナーの歓迎会をしました。その時、私の不始末で奥様に対して贈り物を忘れちゃったんですね。それで皆様に紹介した上で石黒ガバナーに贈呈したいと思っています。これからも私、こちらにお邪魔してまたご協力をお願いする案件が11月出ますので、またこの席上をお借りしてご協力お願いしたいと思います。よろしく申し上げます。今日はありがとうございました。

